

121123

知床における囲いワナによるエゾシカ捕獲



石名坂 豪

公益財団法人 知床財団

地の果て、知床半島

- ・北海道の北東端
- ・長さ約70 km、幅20 km弱の半島
- ・札幌から自動車で6~8時間



札幌

知床半島

知床岬



知床半島




知床世界自然遺産地域

「生態系」と「生物多様性」が国際的に高く評価され、2005年に世界遺産に登録された。

陸域386.3 km²
海域223.5 km² 計710 km²

- ・流氷到達海域の最南端
- ・陸と海のつながり
- ・絶滅危惧種の生息地

「地形・地質」「自然景観」

OUV





知床世界自然遺産地域区域図




冬毛

夏毛

知床のエゾシカ sika deer





生態系への悪影響

高山帯で高山植物を食べる
(シレットコスミレの食害例もあり)

金属製食いで樹皮を枯らす。
特に広葉樹は被害が甚だしい。

草本への強力な採食圧………牧草地ならば農業被害

シカが好む
エゾカンゾウ
などは崖に
しか残って
いない

スカスカの林床(知床岬)

過密化で栄養的に追い込まれれば、
ミズナラの全周樹皮食いも！

生活環境被害

●エゾシカの行動圏と
地域住民の生活圏とが
きわめて近接しているため。

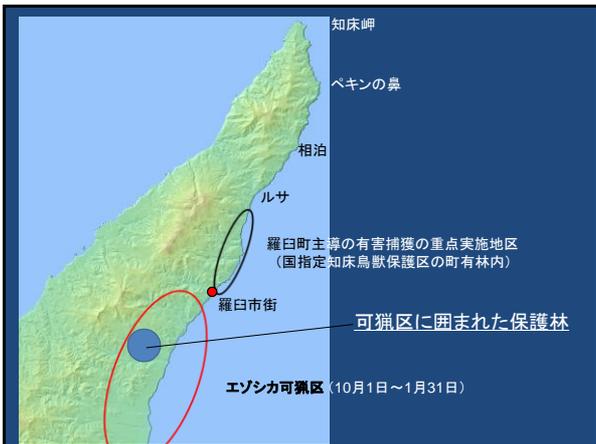
花壇食害
羅網
交通事故
ヒグマの誘引
病原体保有マダニの持ち込み
人への直接攻撃…… etc

羅臼町内における従来のエゾシカ捕獲

急峻な地形、林道が少ない、深いササヤブ、高密度生息のヒグマ・希少猛禽類
などの制約から、効率的に捕獲可能な時期や場所はかなり限定されている

●**狩猟(銃猟)** 年間150~200頭
羅臼中心部より標津寄りのエリアのみ
10~12月流し猟主体、1月巻き狩り主体、一部忍び猟
可猟区内のシカ生息地核心部に保護林あり(狩猟禁止)

●**有害捕獲(銃猟駆除)** 年間150~200頭
共栄町~岬町地区の国指定知床鳥獣保護区内の町有林中心
町役場職員立ち会い
主に2~3月に巻き狩り主体で捕獲
5月の牧草地流し猟駆除も2011年春~再開



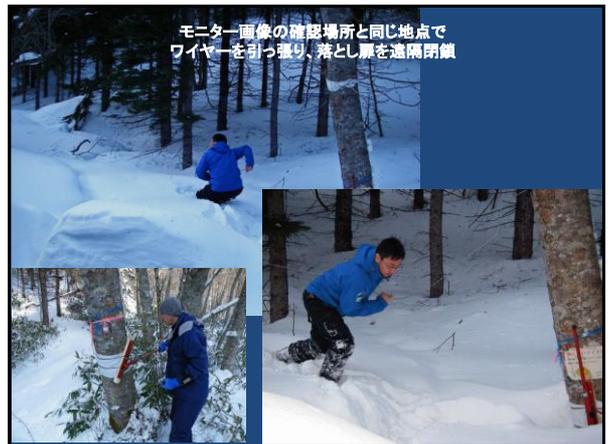
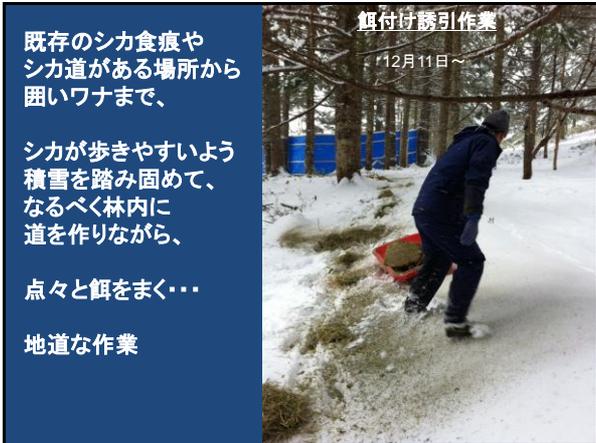




表1. 捕獲(扉閉鎖)結果

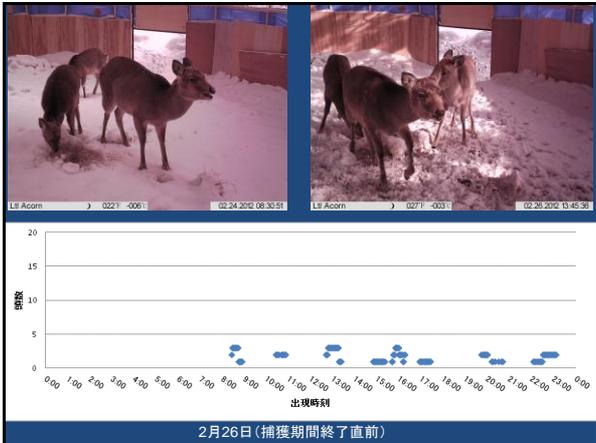
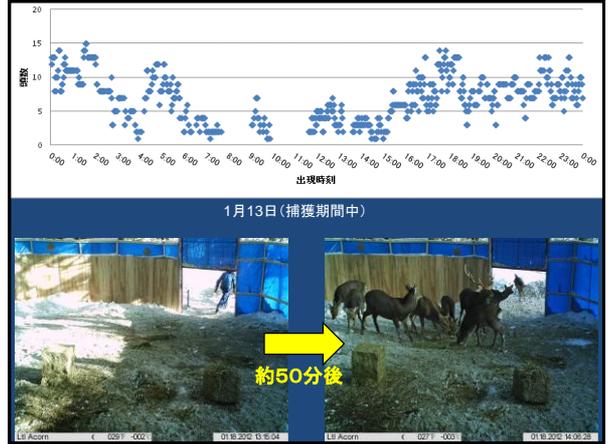
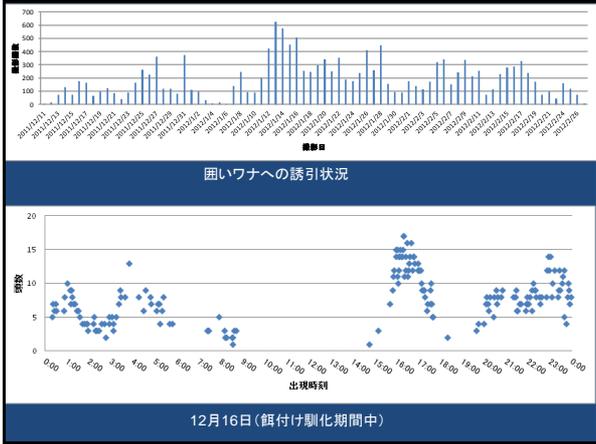
捕獲日	捕獲時刻	日没時刻	天候	捕獲頭数	備考
12月23日	3:35	15:45	吹雪	6	
1月8日	21:10	15:58	晴れ	10	
1月10日	15:42	16:00	雪	13	
1月15日	5:03	16:06	曇り時々雪	10	
1月17日	19:50	16:08	晴れ	19	
1月26日	16:20	16:20	晴れ	6	
1月29日	15:50	16:24	雪	9	
1月30日	17:33	16:26	晴れ	5	
2月2日	15:48	16:30	晴れ	9	
2月12日	16:50	16:44	雪	5	
2月13日	16:57	16:45	晴れ	2	照り下げ効果を検証するための実験的な少数捕獲
2月19日	16:45	16:53	晴れ	8	
2月21日	16:47	16:56	雪時々晴	4	
2月22日	17:00	16:57	晴れ	5	前日捕獲した4頭の搬出前に追加捕獲
2月26日	15:45	17:03	晴れ	3	
合計				114	のべ捕獲頭数

計15回捕獲
平均7.6頭(2~19頭)
平均4.6日間隔(1~16日間隔)

表2. 搬出(生態系からの除去)結果

搬出日	搬出時間	天候	シカ内訳			計	備考
			オス	メス	0歳		
12月23日	11:30-16:00	晴れ	2	1	3	6	
1月9日	8:10-14:00	晴れ	1	5	4	10	
1月11日	9:20-10:20	晴れ	1	1	1	2	搬出前に11頭脱走
1月15日	8:40-14:30	雪	6	3	1	10	
1月18日	9:00-14:00	晴れ	5	6	8	19	
1月27日	9:00-12:00	晴れ	2	4	2	6	
1月30日	8:40-11:10	晴れ	2	5	2	9	
1月31日	10:00-12:00	晴れ	1	3	1	5	
2月3日	9:10-11:10	晴れ	2	1	1	3	搬出前に6頭脱走
2月13日	8:40-11:35	晴れ	3	1	1	4	搬出前に1頭脱走
2月14日	9:00-9:50	曇り	1	1		2	
2月20日	8:45-12:00	晴れ	3	2	3	8	
2月23日	12:30-13:47	雪	3	4	2	9	
2月28日	10:00-12:30	晴れ	2	2	1	3	
合計			24	42	30	96	

計96頭搬出
のべ18頭が搬出前に逃走(脱走)

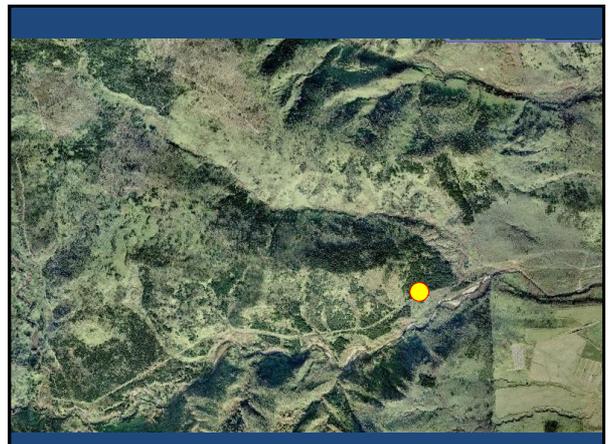


考察: 大量捕獲に成功した要因は?

1)罠いワナを針葉樹林(植林地)内に設置

- 針葉樹林内は元々の越冬地・休息場所
⇒ ワナまで誘引されやすい
- 多雪年だったため、エゾシカがさらに狭い範囲に集中か
- ワナ内の除雪の手間軽減で稼働率アップ
- ワナを破壊する強風を回避できた
(遮蔽式の壁面構造が採用可能になった)

2)オス成獣を比較的積極的に捕獲

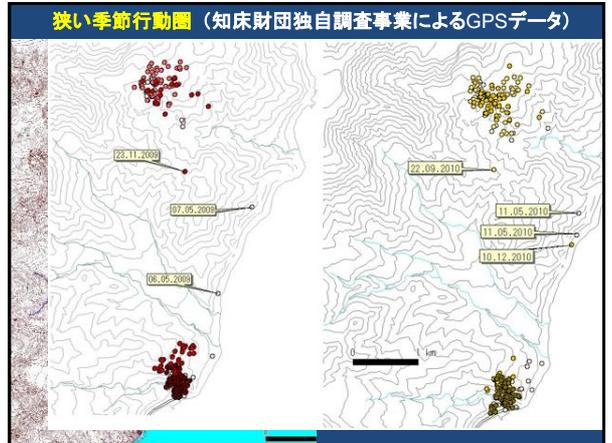




知床半島での
エゾシカ罠いワナ捕獲

今後の課題

- 1) 長距離の誘引方法の確立
- 2) 適正な捕獲実施間隔の解明





公益財団法人 知床財団 

1988年に斜里町が出資して設立された団体。
野生生物や自然環境保護管理の現場対応を担いつつ、
様々な活動を通して、新たな段階への提言を行う。

- * 調査研究「知る活動」
- * 普及・啓蒙「伝える活動」
- * 自然環境の保全・管理「守る活動」

2006年: 知床財団へ羅臼町も参画・出資

2007年～羅臼町からも業務を受託

- * 野生鳥獣及び自然環境保護管理業務
- * ヒグマ管理対策業務 など

※二町設立の財団だが、競争入札等による国からの各種受託業務
収入が年間運営費の半分以上... 知床世界遺産の「実働部隊」

